

| | | | | | |
|------|---|------|-------|---------|-----------|
| 科目名 | 患者・家族の心理 (Patient & Family Clinical Psychology) | | | 科目コード | 150 |
| 開講学科 | 臨床検査学科 | 選択区分 | 必修 | 単位数(時間) | 1単位(15時間) |
| 科目区分 | 専門基礎科目 | 履修時期 | 4年次前期 | 関連DP | |
| 担当教員 | 中平 洋子、高田 智世、細川 翔 | | | | |
| 授業概要 | 様々な局面にある患者・家族の心理について、文献や当事者の語り、患者疑似体験から学ぶ。これらの学びをもとに、検査場面での対応についてロールプレイを通して研鑽する。 | | | | |
| 授業目標 | 臨床検査技師が患者・家族の心理を学ぶ意義が理解できる。 様々な局面にある患者・家族の心理が理解できる。 患者・家族の心理を踏まえ、検査場面における適切な対応を修得できる。 | | | | |

授業計画

| 回 | 項目 | 内容 | 担当者 |
|--------------|-----------------------|---|---------------------|
| 1 | 臨床検査と患者の心理 | 検査時の患者心理と検査結果のもつ意味 これからの臨床検査技師に求められるもの | 中平洋子 高田智世 |
| 2 | 患者・家族の体験 | 患者・家族が医療従事者に何を望んでいるのか、当事者の声から聴く(教育協力者) | |
| 3 | 臨床検査技師と患者・家族の心理 | 家族とは何か 患者にとっての家族、家族にとっての患者 | 高田智世 |
| 4 | 家族の心理 | 臨床検査技師が患者・家族の心理を学ぶことの意味 | 中平洋子 |
| 5 | 様々な局面における患者・家族の心理 | グループワークの成果発表 | 中平洋子 高田智世 |
| 6 | 検査時に必要な介助技術 患者疑似体験 | 車椅子操作の演習、車椅子体験 | |
| 7 | 患者疑似体験 | 妊婦体験・高齢者疑似体験 | 中平洋子 高田智世 細川翔 |
| 8 | 検査時の患者への対応の実際 | 患者・家族にわかる説明と安心をもたらす対応(採血場面・心電図場面等のロールプレイ) | |
| 成績評価方法 | | 文献探索グループワーク・発表(40点)、演習事前レポート(10点)、総括レポート(50点) | |
| 教科書 | | なし | |
| 参考図書等 | | 岡堂哲雄「病気と人間行動」(中央法規出版) 友安直子「プロに学ぶ患者接遇」(医学通信社) | |
| 授業時間外の学習について | | | |
| 関連科目 | | 128 心理学 129 コミュニケーション論 147 カウンセリング入門 | |
| 備考 | | 授業外に、様々な局面における患者・家族の心理に関する文献検索(グループ課題)と演習事前レポート(個人課題)があります。 | |